



# 上尾ロータリークラブ

2023-2024年度R.I.テーマ

世界に希望を生み出そう

## 第3006回 例会

2024. 3. 28

## 会長あいさつ

2023-2024年度 長沼 大策 会長



週報 No.2251  
発行 2024年 4月 4日

2023-2024年度  
会長 長沼 大策  
幹事 坂本 忠光  
副会長 門崎 由幸  
副幹事 小田切宏治  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 尾花 正明

### 行事予定

4月12・13日 仙台・松島へ  
会員親睦旅行

4月18日 社会奉仕事業  
献血  
於:上尾駅東口

4月25日 卓話 久井愛未様  
(青少年交換学友)  
「青少年交換から10年  
～その後のストーリー」

皆さん、こんばんは。本日もご出席いただきありがとうございます。  
今年の桜はまだまだですね。来週あたり、機会があったらお花見に行きたいと思えます。この時季、3月最終週あたり、パスト会長たちがどんな会案あいさつをしていたか調べてみました。

関口和夫年度(2014年)では、当時3月は「基本的教育と識字率向上月間」だったことについて触れていました。ちなみにロータリークラブの重点分野とは、平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、経済と地域社会の発展、があり、近年「環境」も加わりました。

齋藤博重年度(2015年)、3月19日の例会で、富永出席委員長の呼びかけにより創立記念日(52年)にちなみ出席率100%を達成していました。また上尾高校インターアクト同好会が日韓親善交換留学で、韓国に行く前に生徒さんご挨拶にお越しになっていました。

第2関口年度(2016年)、お花見について平安時代から徐々に桜に移行し、江戸時代に庶民にお花見の風習が広まったと調べていりました。  
久保田年度(2017年)、東京オリンピックに向けた話題がまだ乏しく、お仕事柄、事前準備やリサイクルという言葉に敏感だと仰っていました。東京五輪のメダルについては、使われなくなった携帯電話やパソコン・デジカメなどから原料をとりだす「都市鉱山」から製作されるという話題をお話しになっていました。

藤村年度(2018年)、3月29日の週報では、創立55周年記念式典を東武パンケットホールで開催した話題と、須田さんの(島村年度の)ナイジェリアへのグローバル補助金を使った海外支援について、解決に向かっていとお話しされていりました。

樋口年度(2019年)、米山記念奨学生の修了式で、鄭維嘉(ていゆい)さんのスピーチが最高に立派だったと誉めていました。この日の卓話者は埼玉県オリンピック・パラリンピック課の企画担当さんに埼玉県で行なわれる競技についてお話しいただきました。

須田年度(2020年) 3月の例会は緊急事態宣言で休会でした。休会になる直前、2月27日に第5グループのインターシティミーティ

ングを当クラブ主管で開催し、ジャパンハートの吉岡最高顧問にお越しいただき、奇跡的に開催できました。その後、コロナウイルス防護用品を上尾市に寄贈するなどしましたが、次にリアルの例会が開催されたのは6月でした。前年度・深澤年度と私の年度では、新型コロナによる休会はなくなっています。「例会が開催できる」というのは当たり前のごではなく、とても有り難く幸せなことだとしみじみ思っています。本日もよろしくお願いたします。

昭和42年3月10日生まれ、57歳になりました。私も体の衰えを感じていて、3~4年前はフルマソンで4時間をきって選層までできると思っていました。コロナ中、速く走る練習をしていなくて、去年の東京マソンでは4時間10分、今年は4時間46分ということでワースト2の記録を出してしまい、4時間を切るのは無理になってきたと感じています。それでも60歳まではフルマソンを続けていこうと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

最近、3つのいいことがありました。1つ目は電動歯ブラシの先の換えブラシを買ってもらえたことです。2つ目は、ずっと続いていた下腹の痛みが治ったことです。3つ目は子供の受験で、真ん中の子と下の子が合格したことです。ありがとうございました。

ベトナムでの奉仕が12月にあり、フィリピンの奉仕を2月に行いました。写真を見ながら報告したいと思います。ベトナムからです。ベトナムの施設3カ所にお金と必要な物資を運びました。先方の要望はオムツなど生活必需品で、現地のスーパーで預びました。支援する施設の1つ、孤児・捨て子を預かっている施設で、ここは国からぜんぜん補助がなく

次はフィリピンです。久喜RCさんと合同の奉仕で、上尾が2万ペソ、久喜さんが5万ペソの合同の支援です。支援したのはサーキュレーターという呼吸器です。市営の診療所みたいところで、お金がないなどの事情で病院に行けない方に来て治療をしているようで、そういう支援をしました。

日本から7チーム、7カ所にいろいろな支援をしています。現地も7クラブ来ていて、懇親会を行いました。梨本ガバナーも行かれていて、その隣が現地のガバナーです。お年を召している方がエディーさんといって、日本の故・田中徹夫パストガバナーと同期のパストガバナーで「一緒にやってくれないか」というご縁でフィリピン3800地区と日本の2770地区の間の国際奉仕事業が30年くらい続いています。

私は地区へは財団で4年、それからほぼずっと国際に出向していましたが、古希になって次年度以降は出向をやめて、クラブでお世話になろうと思っています。国際奉仕は本来はクラブがやって、地区はお手伝いをするまでです。現地に行って子供たちの輝く瞳を見ると、支援をして良かったなと思います。

今年度は宮澤部門委員長のもと、コロナ前に戻すんだとの号令で、私は7回、国際奉仕に行きました。このあと、韓国3750地区の地区大会が4月後半に予定されていて、それが最後の公式行事かなと思っています。今年度で楽しい出向活動を卒業したいと思っています。本日はありがとうございました。

資金が足りないので現金をお渡しました。これは川口南RCさんの事業で、地区の国際奉仕委員が代わりに行って届けました。



結婚・誕生祝い



米山記念奨学会から委嘱状授与



お誕生日 おめでとうございます!

大木 崇寛 会員

大塚 崇行 会員

ショートスピーチ

須田 悦正 会員

例会主題

ベトナム・フィリピンの国際奉仕報告

大木 保司 会員

2023~2024年度 1月 出席表

2023~2024年度 2月 出席表

2023~2024年度 1月 出席表

2023~2024年度 2